

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

2020年に開催される東京オリンピックから注目され、多くの情報が国内外に発信される。この機会に情報

発信に夢を託すには、事前の戦略と行動が大切だ。これから多くのイベント企画が提案されるだろうが、単発的な企画に便乗する安易な対応では成果を期待できない。大北地域の課題は、観光部門だけではなく、農林業部門でも戦略的な取り組みが求められている。昭和40年代から、集

り市街地は、以前の活気を失ってしまっている。行政が設置した「道の駅」も同様に地域に大きな影響を与え、大規模な「道の駅」整備構想が話題になっ

に多大な影響が出るだろう。結果として、地域活性の呼び声に不信感を持たれる事も避けられないだろう。私たちが取り巻く社会も激変している。日本は、世界でも稀なテレビ離れの動向が強い

えた映像が「身に迫る体験」と感じさせるほどリアルに映る事だ。観光地で体験する事が、居間で出来てしまう。そして急激に業績を伸ばすネット通販会社「AMAZON」、世界の品揃えと、直ぐ

白だ。東洋経済オンラインの「地方再生のリアル」に寄せられたコメント。「いま地方には、地域を委ねる者の能力を見定める力も経験もない。だからこそ

地域住民が真剣に地域課題に向き合え」と。あなたはどう考えますか。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

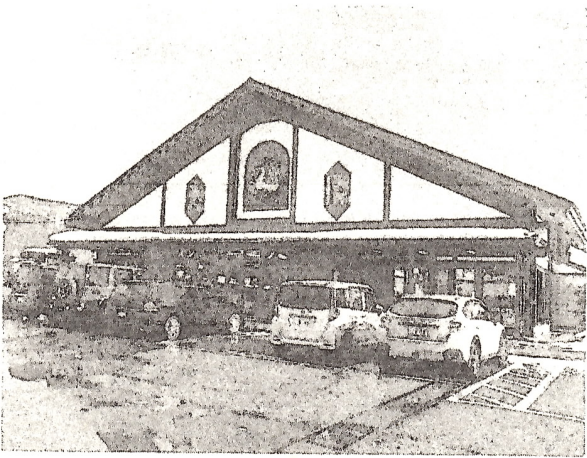
## 地域の課題を戦略的思考によって取り組む事が求められている

自毛に届く物流システム。これまでも異なる価値観を築しめる社会は遠くないだろう。商業施設を大型化して、車社会に対応すれば賑わう商ビジネスは成り立たなくなる。流通革命を現実迎える時、戦略は、地域の施設整備でないことは明

てきている。だが取り巻く社会事情から、大規模な「道の駅」に併設して、集客目的の複合商業施設構想が想定される。この施設エリア整備が出来上がった時、地域内で懸命に経営している既存関係者

ため、業界での技術革新は真剣だ。現在の4K映像度テレビは時代遅れと、既にHDR(ハイダイナミックレンジ)技術が注目されている。多くの機能の中で、特に今までテレビの向こうにあると思

客力向上を目的として複数の施設を組み合わせる複合商業施設が全国各地に出現、この影響により主要道路に面した小規模な商店や飲食店の廃業が続発。大北地域でも大型ショッピングセンター等によ



「道の駅とは、一体誰のためにあるのだろうか」の意味を忘れてはいないだろうか